

令和8年5月22日開催

都市基盤整備・危機管理対策特別委員会

委員長報告

令和8年6月定例会

委員長 若谷正巳

去る5月22日に開催されました当委員会の審査概要について、ご報告申し上げます。

「川口駅周辺まちづくり指針（素案）の策定について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

川口駅周辺のまちづくりにおいては、令和4年に策定した「川口駅周辺まちづくりビジョン」に基づき、六間通り線の整備等、各種取り組みを推進してきたとのこと。現状としては、駅周辺には交通施策等の観点で市民や利用者の利便性、安全性に課題があり、これらの解消や本ビジョンの実現に向け、川口駅周辺在り方検討委員会の議論を踏まえ、公民共有のガイドラインとする「川口駅周辺まちづくり指針（素案）」を策定したとのこと。

本指針では、まちづくりを進めるうえでの市の理念、ビジョンの実現に向けた戦略及び駅周辺を4つのエリアに分け、まちづくりに必要となる取り組みを設定しているとのこと。

今後は、技術的・財政的な検討・検証を行うほか、パブリック・コメント等により市民の意見を聴取し、本指針の内容を更に精緻化することで、実現の可能性を踏まえたまちづくり指針の策定を目指していくとのこと。

今年度については、駅周辺において不足している機能や将来必要となる機能の整理に加え、駐車場・駐輪場等に係る技術的な状況調査を実施し、利活用の方向性の検討等を行うとのことでありました。

以上のような説明に対して、駅周辺における低未利用空間の場所について問われ、これに対して、駅東口北側のパーキング117などが該当するとのことでありました。

このほか、川口駅再整備基本計画（案）との関連性及び今後の具体化に向けた進め方について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

なお、現地視察として、高度シミュレーターを活用した救急活動について視察をいたしましたことを付言いたしまして、報告を終わります。